

令和7(2025)年度 中堅教諭等資質向上研修(道徳:下都賀地区)を開催しました

令和7(2025)年7月 28 日(月)実施
下都賀教育事務所 学校支援課

1 研修の目的・内容

(1) 目的

「心の教育」の推進における道徳教育の重要性を認識し、道徳科の指導案の作成を通して、道徳科の特質を理解するとともに、ねらいに迫る授業づくりに資する。

(2) 会場

小山市立桑市民交流センター「マルベリー館」

(3) 内容

○ 主催者挨拶 下都賀教育事務所長

○ 趣旨説明及び事務連絡 下都賀教育事務所 学校支援課 担当

○ 班別研修 指導案作成
・ねらいとする道徳的価値の確認
・ねらいの設定
・中心発問及びその前後の発問の設定



2 本研修で確認したこと

【本研修の趣旨等について】

○ 道徳教育は、日常的な生活場面を含むあらゆる教育活動の中で、道徳的行為が身に付くように道徳的価値を意識させながら繰り返し指導することが大切である。

○ 道徳科の目標には、道徳性を養うために必要な学習の過程が明示されている。

道徳的諸価値についての理解を基に
「自己を見つめ」
「物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え」
「自己(人間として)の生き方についての考えを深める」
学習を通して、



道徳的判断力、心情、実践意欲、
態度という四つの内面的資質
を育てる。

○ 道徳科の授業をより充実させるには、「ねらいに迫る」ことが重要である。

→「児童生徒にどのような心を育てるのか」を明確にして授業を展開する。

【※参考】「栃木県教育振興基本計画 2025」P.19
「令和7(2025)年度版下都賀地区学校教育の重点」P.7
「栃木県道徳教育ハンドブック」P.20

3 本研修で学んだこと(参加者が記入した「研修の振り返り」から)

【授業づくりに関すること】

- ・ねらいを明確にすることで教材をどのように活かせばよいか、どのような発問をすればよいのかが考えやすくなることができました。
- ・内容項目分析表を作成することで低学年・中学年・高学年・中学校における指導の要点が一目で分かり、何を目的として授業を行うのかがよく理解できました。
- ・児童の実態や身に付けさせたい力に合わせて授業展開を工夫していくことが大切であることが分かりました。また、授業前に予想される児童の反応を考えておき、それに対する補助発問を用意しておくことで、児童の内容項目の深い理解につながるということが分かりました。
- ・授業のねらいについて考える中で、指導要領や指導内容をしっかりおさえることの大切さや何を児童に気付かせ、育てていきたいかをより明確に捉えて授業づくりをする大切さを学びました。
- ・児童の実態をよく理解した上で、ねらいに迫れるようなコーディネートを工夫することが大切であり、児童に気付かせ、考えてほしい内容、言葉、予想される発言を踏まえた発問や切り返しをしっかりと考えて、授業づくりをしていきたいです。

【班別研修に関すること】

- ・グループの先生方との協議を通して、1人だけではできない教材の読み取りをすることができ、指導案作成に向けて見通しをもつことができました。
- ・ねらいの立て方や発問の仕方、予想される児童の発言など、研修を通して同じグループの先生方と話し合うことができ、次の道徳の授業が楽しみになりました。
- ・判断力、心情、実践意欲、態度、何を身につけさせたいのかなど同じ学年、同じ中堅の先生方と話し合うことで深く考えることができました。今回の研修で学んだことを生かして、2学期からの授業を考えていきたいと思います。
- ・グループの先生方とねらいから中心発問、板書等について話をする事ができ、とても勉強になりました。1人では見えてこなかった視点も4人の考えて広がり、流れが明確になり、ねらいとする内容項目がぶれることなく授業ができそうです。
- ・グループで教材研究をすることで、道徳的価値について1人よりも複数の視点で見たことでより理解することができました。授業のねらいを焦点化し、育てたい資質に向けて指導案を組み立てることができました。

【ミドルリーダーとしての役割に関すること】

- ・普段の授業準備の中でもこうした時間を学年の先生や若手の先生とつくり、話し合うことで、学べることが多い時間になると思いました。ミドルリーダーとして、可能なことから実践していきたいと思います。
- ・ねらいは、①教材の内容、②指導内容、③学習指導要領解説の表現という具体的な型から設定するというを示していただいたおかげで考えやすくなりました。研修で得たことを後輩の先生方に伝えていきます。
- ・ねらいを学習指導要領の内容項目の分析をしてから、一から考えるのは正直初めてでした。そこから中心発問を考えたり補助発問を考えたり問い返しはどうするなどいつも以上に深い指導案検討ができました。この後、校内の指導案検討で生かして、後輩の先生方にも還元し、授業を準備したいです。
- ・学習指導要領をもとに子どもたちに考えさせたい、身に付けさせたいことを意識しめあて・展開を考えることはとても大切なことだと思いました。可能な限り職員間でこのような時間を設け、学校全体でよりよい授業を作っていけるよう周りを巻き込んでいきたいです。

